

2.13. TECH BC, Web CT

永岡慶三

2.13.1. TECH BC: Technical University of British Columbia

- Key Repairと同じ分類にある大学

2001年6月に訪問したTECH BCは2年前に4人のスタッフでスタートしたカナダでは数少ない私学の一つである。Vancouver近郊、市内中心部より伸びる電車SkyTrainのSurrey駅前に新開発された大型ショッピングモールの中にTech BCはあった。広い野外グラウンドを擁し、時計台の尖塔をいただく高い建物が広大なキャンパスの中央部に配された伝統的の大学とは全く異なる景色がそこにあった。現実社会からはやや距離をおいたような近付けば誰にでもわかる学園キャンパス然とした雰囲気はない。ショッピングモールの巨大なビルの中に入って行き少し探さないとならない受付のあるオフィススペースは、他のショップやレストランなどと並んで特別に目立つような構えではない。ショッピングモール内の案内ボードにはショップの種類やレストランなどの分類においてはサービスの欄に、Key Repairなどに並んで”大学”としてTechBCとある。あたかも新世代の高等教育機関が近未来社会において必然的に至る適応形態を体現しているような感さもある。

そのモールのビル内に対面授業用の教室やコンピュータ演習室も離れて存在するのだが、トイレに行く通路かと思えるような狭い廊下を奥に入った全く目立たぬ場所にある。メインオフィスにしてもその存在は目立たず、すべてのショップにある衝動買いを誘発する楽しく派手な店構えは不要ではあるということか。受付のあるオフィスから少し離れ、大型スーパーSearsの中を通り抜けて映画館の入り口のようなところから入る。TechBCの広い主要スペースは映画・映像などの制作プロダクションの仕事場のような雰囲気、廊下の両側に教室やあるいは研究室のドアが並ぶ通常の大学の建物内とは全く違っていた。

ただし、年内にも従来型のキャンパスが竣工し、そちらへ移るといふ。社会事体の変化はそれほど急ではないといふことの証左といふべきか、形態は新しくともターゲットは従来型であるといふ点をTechBC側は後の議論の中で強調していた。

- TECH BC概要

我々の訪問に対応したスタッフは次の面々である。

Tom Calvart, PhD, PEng, Vice-President, research & External Affairs

John Nesbit, PhD, manager, research and Development, Educational Technology and Learning

Stephanie T.L.Chu, Educational Analyst

TechBCはInformation Technology、Business Technology、Interactive Artの3コースをもつ大学で、現在のところフルタイムの学部生3年生がいる。スタッフは150名。コースの多くはオンラインで提供されている。ちなみに、教官の数は25名程度。学生はほとんどが高校を卒

業したばかりの学生で、中にはESLの学生もいる。

コースは99年に15本、2000年に200本、2001年に300本用意している。コースのデリバリーモデルは、大きく分けると、

- (1) 週に90分のFace to Faceの授業+週に90分のオンラインコース
- (2) 100%のオンライン授業
- (3) 一週間ごとにオンラインと講義をいれかえるものがある、それぞれ全体の60%、10%、10%をしめている。授業内容に応じて、バランスを保ちながら運営されている。

オンラインコースの提供は、独自Webアプリケーションを利用しており、オンラインコースの学習者の75%がブロードバンドアクセスで受講しており、80%の学習者が自宅にコンピュータを持っている。

• コース作成

コースの作成は、

- (1) R&Dチーム
- (2) プロダクションチーム
- (3) コースリサーチャー
- (4) デリバリーチーム

にわかれて行われる。

R&Dチームは、JavaやWeb Technologyに明るい3名のWeb開発者、1名のグラフィックデザイナー、Educational Analystから構成される。Educational Analystは、先ほどのデリバリーモデルを吟味し、コースやコンテンツのストラクチャー、コースの目的、評価の方法などを決定する。

プロダクションチームは、VideoやFlashなどを作成するメディアディベロッパー、インストラクショナルデザイナー、ソフトウェアスペシャリスト、エディター、デジタルライセンススペシャリストから構成される。デジタルライセンススペシャリストは、著作権等の処理にあたる。コースリサーチャーと呼ばれる職種があり、呼び名の通りリサーチを担当する。デリバリーチームは、コーディネータと2名のシステム管理者から構成される。

これら多くの人々がかかわるコース作成は、1つのコースを作成するために4ヶ月をかけて行われる。忙しすぎて研究するヒマなんてないとのこと。

2.13.2. Web CT社

2001年6月に、カナダ最西端のブリティッシュ・コロンビア州バンクーバーVancouver, BC, CANADAにあるWeb CT社を訪問する機会を得た。

Vancouverの中心部より車で30分ほど走った郊外にブリティッシュ・コロンビア大学UBC: University of British Columbia がある。北米の名の通った多くの大学の例にもれず広大な敷地面積を誇る、国際的にも評価の高いカナダでも有数の名門大学である。大学の敷地内には、人類学博物館、チャン・パフォーミング・アーツセンター、UBC植物園、さらにキャンパスに隣接した763ヘクタールの樹木に覆われた大平洋スピリット地区公園など多数の施設が存在す

る。そうした数多くの研究、教育、閲覧・展示等のための建物群の一角にWeb CT社のオフィスがある。私企業がれっきとした大学内の建物の一部に、その管理部門と開発グループを含むスタッフを擁するオフィスがあることは日本的にはあまり見慣れない情景である。

我々の訪問に対応したスタッフは次の面々である。

WebCT;course, campus, community: www.webct.com

Michelle Lamberson: michelle.lamberson@webct.com, Director of Knowledge Management, WebCT. #201-2389 Health Science Mall, Vancouver, BC CANADA, V6T 1Z4. tel:604-225-2225, Cell: 604-551-5441, fax:604-225-0804.s

Michael Va: michal.vax@webct.com, senior Director, Product Development, WebCT.

• WEBCT

WebCTユーザーの90%は普通の大学で利用されている。10%がいわゆるVirtual Universityで使用されているに過ぎない。

WebCTのターゲットセグメントは今後とも 1. 大学、2. K-12、3. 企業内教育である。

近く発表されるVer.3.6ではIMS Contents & Assessment parserが実装され、互換性 interoperabilityが増す。2002年4月リリース予定のVer4.0ではユニコードを採用し、標準に対応する。

「我々はオープンにどんどん発展していく。WebCTはオープンアーキテクチャなのである。WebCTのプラットフォーム上で、すでに多くのコースウェアが開発されている。

Interoperability (インターオペラビリティ: 相互運用性、あるいは互換性) は十分あるといえる。故に、その上でSCORM等の標準化に貢献したい」とっていた。